

# 盲学校用教材開発普及サークルSoleil

視覚障害者用学習教材の製作・寄贈による社会貢献

## 【取組み内容】

- ・ 視覚障害支援教育現場の「こんな教材があれば」というニーズをモノづくりでカタチにし、全国の盲学校に寄贈してきた。
- ・ 視覚障害をもつ子供たちの教育ニーズを満たす教材開発は企業には難しく、教育ニーズを満たす教材が不足している。
- ・ 全ての人に平等な教育の機会を提供し、視覚障害のある人の大学進学率向上の一助となることを目指す。
- ・ 今年度は4種類の教材の製作・寄贈を行なっている。



## 評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	盲学校への要望調査や試用評価を行い、改良を重ねることは、実社会で求められる開発手法と同様である。
包摂性	全盲や弱視、視野狭窄等の視覚障害者などのすべての人々が、健常者と変わらない進路選択を行える平等な学習環境を作ることを目指す。
協働性	学生主体で開発を行い、盲学校教員や盲学校校長会の協力を得たり、資金調達において財団法人の支援を受けている。
統合性	少しでも家庭への負担を減らし、大学教育進学率を向上させ、将来の貧困を予防し、不平等を軽減したいという思いで活動している。
透明性	工学部公認サークルとして、1年に1回活動報告を行い、1つの教材の寄贈活動完了の際には、大学広報を通じてプレスリリースを行なっている。

## 貢献するSDGsのゴール

